

図書館だより



NO. 213 2016年2月号
(2016年2月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1



ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

**特別整理期間に伴い、
2月19日(金)～2月25日(木)
の期間を休館いたします。**



はつかいち市民図書館では、1年に1度、特別整理期間を設けています。

特別整理期間中は、図書館を休館し、所蔵資料の総点検を行います。書架の全資料のバーコードを読み取って、コンピューターのデータと照らし合わせ、不明になった本や間違った場所に置かれた本がないかチェックする作業です。

休館中はご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

大野図書館 2月11日(木)～2月18日(木)
さいき図書館 2月22日(月)～2月26日(金)

今月の展示



《中央展示》

『子育て応援本』

妊娠・出産、子どもの名づけ、
病気、手作りの子ども服、お弁
当作りなど、みなさんの子育て
を応援する本を集めて展示し
ています。

《さくらびあ展示》

『書く女 樋口一葉』

2月18日(木)にさくらびあ大ホールで
「書く女」の舞台公演があります。

24歳の若さで亡くなった明治の女性作
家、樋口一葉に関する資料を集めて展示して
います。

《企画展示》

にゃんにゃんにゃん

『2 2 2 ねこの本』

にゃんにゃんにゃん

2月22日は、「2 2 2」で猫の日で
す。猫が好きな人もそうでない人も楽しめ
るような、猫に関する本を集めています。



展示期間：1月29日(金)～2月18日(木)



本を通して人と出会う 人を通して本と出会う 朝活読書会を行いました！

1月17日（日）に「朝活読書会」を行いました。
図書館員も含めて9人が集まり、3人で1グループを作っておすすめの本を紹介し合いました。



* 参加者の感想 *

- 自分が読まなかったジャンルの本を知ることができたので良かった。また、紹介した人の考え方がわかって良かった。
- 新しい体験で学ぶところが大でした。もっと参加者が欲しい。
- 読書好きの人の集まりなので、他の人の話から自分と同じ思いや関心のある話を聞くことができ、新たな出会い、発見がありとてもよかった。

* 参加者おススメ本 *

- 「注目すべき125通の手紙」
ショーン・アッシャー/編 創元社
L 908.5 子（特大）
- 「椿の蕾」（『自選坂村真民詩集』より）
坂村真民/著 大東出版社 911.5 サ（書庫）
- 「岸辺のヤービ」
梨木香歩/著 913 ナ（児童）
- 「声の出ないぼくとマリさんの一週間」
松本聡美/作 汐文社 913 マ（児童）
- 「故郷忘じがたく候」
司馬遼太郎/著 文芸春秋 B913.6 シ（大野）
- 「ヒトリコ」 額賀濤/著 小学館 F 又
- 「流れる星は生きている」
藤原てい/著 偕成社 916 フ
- 「スノードーム」
アレックス・シアラー 求龍堂 933 シ
- 「マククリーンの森」
ノーマン・マククリーン/著 集英社 933 マ（書庫）
- 「ちいさいおうち」
バージニア・リー・バートン/文・絵
岩波書店 Eハ（絵本）

※（ ）は配架場所または所蔵館です。

*** 今月の新刊（一般書） ***

図書館には1カ月に約500冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

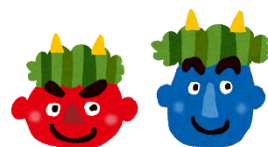
- 『ストーリー思考で奇跡が起きる』 小山竜央/著 大和書房 159/コ
- 『蘇我氏の古代』 吉村武彦/著 岩波書店 S 210.3/ヨ
- 『ギリシア人の物語』 1 塩野七生/著 新潮社 231/シ
- 『うつになる職場ならない職場』 香山リカ/著 にんげん出版 S 336.4/カ
- 『耳がよく聞こえる! ようになる本』 中川雅文/著 河出書房新社 496.6/ナ
- 『家族の健康を守る家』 深谷賢司/著 PHP 研究所 527/フ
- 『ドライフラワーの飾り方』 誠文堂新光社/編 誠文堂新光社 594.8/ト
- 『コイベタと暮らす本』 コスミック出版 L 666.9/コ
- 『カーテンコール』 川島なお美/著 鎧塚俊彦/著 新潮社 772.1/カ
- 『エトワール広場/夜のロンド』 パトリック・モディアノ/著 有田英也/訳 作品社 953/モ
- 『坂の途中の家』 角田光代/著 朝日新聞出版 F/カ
- 『真実の10メートル手前』 米澤穂信/著 東京創元社 F/ヨ





新刊

こどものほん



『かばのベロニカ』

ロジャー・デュボアザン/作・絵 神宮輝夫/訳
復刊ドットコム E/〒

右を向いても、左を向いてもかばばかり。そんな中で暮らすベロニカは、みんなとちがう、ゆうめいなかばになりたいと思って、人間の町にやってきました。すると大きなベロニカは、すばらしくめだつてすぐにゆうめいになりましたが、どこにいても、何をしてもじゃまものあつかいされ、ついにろうやに入れられることになってしまいます。

佑学社 1979 年刊の再刊で、「かばのベロニカ」シリーズの第 1 弾。

『レッド・フォックス』

チャールズ・G.D.ロバーツ/作 桂宥子/訳 チャールズ・リビングストン・ブル/画 福音館書店 480/円

勇敢な父ギツネに命を救われた雄の子ギツネ、レッド・フォックスは、兄弟の中でも知力・体力に優れ、好奇心も旺盛だった。初めて出会ったスカンクにすばやく突進し、強烈なおいをかけられ、おいが消えるまで巣から追出されたこともあった。やがて大人になり、大自然の猛威、人間や猟犬との闘いも、冷静な判断力で切り抜ける。シートンとともに「写実的動物物語」の創始者として知られる作者が、野生動物の徹底した観察をもとに、カナダ東部の森に生きる赤ギツネを力強く描いた物語。

その他の新刊

『「エルマーのぼうけん」をかいた女性ルース・S・ガネット』 前沢明枝/著 福音館書店 930/円

赤ちゃんとのしむ 絵本コーナー

はつかいち市民図書館では、赤ちゃんと一緒に楽しめる絵本のコーナーやリストを作っています。「赤ちゃんに絵本が理解できるの?」「忙しくてそんな時間はとれない!」という方もいらっしゃるかもしれません。

でも赤ちゃんは絵本を読んでもらうことが大好きです。やさしく語りかけてあげると赤ちゃんは自分が愛されていると感じます。また、抱っこぬくもりは赤ちゃんにも大人にも心地よいひと時を与えてくれるものです。

まずは、リストや絵本コーナーから、ご自分の好きな本、読んであげたい本をさがしてみませんか?

絵本の選び方がわからない時などは、お気軽に相談カウンターでお尋ねください。



↑くつを脱いでゆっくり読める絵本コーナー。ちょっと大きいお兄ちゃん、お姉ちゃんが読める絵本も置いてあります。



↑年齢に合わせた絵本を紹介しているリスト（館内で配布しています）とリストに載っている絵本を集めたコーナー。



返し忘れている本があれば、
ご返却をお願いいたします



ご自宅や、職場、学校、自動車等に返し忘れている図書館の本がありましたら、特別整理期間前にご返却をお願いいたします。

特別整理期間では、所蔵資料の総点検を行います。棚にあるはずの資料とコンピューターのデータが一致しなければ、「不明資料」となってしまいます。

「不明資料」は誰も利用することができません。また、返却期限を過ぎても返却してもらえない場合も同様です。

図書館の本はみんなものです。

誰もが気持ちよく使える図書館となるよう、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



2月の図書館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5 ◎	6
7	8	9	10	11	12	13 ★
14	15	16	17	18	19 休館	20 休館
21 休館	22 休館	23 休館	24 休館	25 休館	26	27 ★
28	29					

◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 10時30分～
2回目 11時～

※相談窓口で**整理券**をお渡ししています。
カウンターにお問い合わせください。

★おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年

【時間】11時～

※場所はいずれも**図書館会議室**です。

★ 途中からの入室はご遠慮ください ★

特別整理期間中の返却・予約について

廿日市市内における図書館3館のいずれかの図書館で、蔵書点検をしている時は、通常の予約の準備ができないことがあります。予約資料を貸出に来られる場合は、その資料が予約確保になっているか、確認の上お越しください。

また、蔵書点検中はブックポストに返却いただいた資料をすぐに返却できないことがあります。他館で資料を借りる方は、その館にご返却ください。